

# 稲作だより

第8号 穂肥編  
令和7年7月3日

最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333

**草丈は長く、茎数は平年並～やや少ない  
出穂はやや早まる予想で7月は高温予報  
速やかな中干し・適期適量の穂肥を行おう！**

## ◎生育診断圃の6月30日生育調査結果と出穂予想

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	出穂予想	平年との差	穂肥適期
はえぬき (新庄市泉田)	本年	44.3	583	9.3	45.5	8/5	-1	7/11
	前年	42.4	541	9.7	46.0			
	平年	42.9	610	9.1	45.3			
	平年比・差	<b>103</b>	<b>96</b>	0.2	0.2			
つや姫 (舟形町富田)	本年	62.9	550	9.9	41.9	8/9	-1	7/10
	前年	60.1	705	9.6	44.3			
	平年	51.1	626	9.5	42.6			
	平年比・差	<b>123</b>	<b>88</b>	0.4	-0.7			
雪若丸 (新庄市泉田)	本年	43.9	611	9.2	44.7	8/7	±0	7/13
	前年	37.0	653	9.7	46.0			
	平年	37.1	679	9.2	46.0			
	平年比・差	<b>118</b>	<b>90</b>	0.0	-1.3			
あきたこまち (最上町向町)	本年	61.4	609	10.1	47.2	7/31	-1	7/11
	前年	51.2	662	9.7	46.7			
	平年	45.7	605	9.5	46.9			
	平年比・差	<b>134</b>	<b>101</b>	0.6	0.3			

### 生育診断圃の生育状況

草丈は平年よりも長く、茎数は平年並み～やや少なく、葉数は平年並み～やや多く(生育がやや早い)、葉色は平年並みです。

「スマートつや姫」適期作業カレンダーによると、**出穂はやや早まる予想**です。向こう1カ月の気温は高い予報(気象庁7/3)ですので、さらに早まる可能性があります。各圃場で生育診断を行い、遅れずに適期適量の穂肥を行いましょう。

## ◎適期適量の穂肥に向けての中干し実施

**作溝・中干しをまだ行っていない圃場は、直ちに行いましょう！**

生育量に応じた中干し程度としましょう。作溝は中干しの効果を高め、その後の給排水を容易にし、登熟期の水管理がしやすくなります。

登録者  
増加中

LINE 公式アカウント「最上ベスト稲作」  
登録者募集中 (無料)

最上地域の水稻に関する技術情報や、  
研修会の案内などがスマホで受け取れます。



登録用  
QR

## ◎品種ごとの穂肥診断

下表を参考に生育診断を行い、穂肥量・施用時期を決定しましょう。

品種	茎数(本/㎡) および葉色(SPAD)	生育	窒素分量	施用時期
はえぬき	茎数700本以下かつ葉色40以下	適正	2.0kg/10a	出穂25日前
	茎数700本以上 <b>または</b> 葉色40以上	やや過剰	1.0~1.5kg/10a	
	茎数700本以上かつ葉色40以上	過剰	穂肥なし	
つや姫	茎数600本以下かつ葉色39以下	適正	1.5kg/10a	出穂30日前
	茎数600~650本 <b>または</b> 葉色39~41	やや過剰	1.0kg/10a	出穂25日前
	茎数650本以下 <b>または</b> 葉色41以上	過剰	葉色低下を待ち1.0kg/10a または穂肥なし	
雪若丸	茎数560本未満 <b>または</b> 葉色40未満	不足	1.5kg/10a	出穂30日前
	茎数560~750本 <b>または</b> 葉色40~44	適正	1.5kg/10a	出穂25日前
	茎数750本以上 <b>または</b> 葉色44以上	過剰	1.0kg/10a	

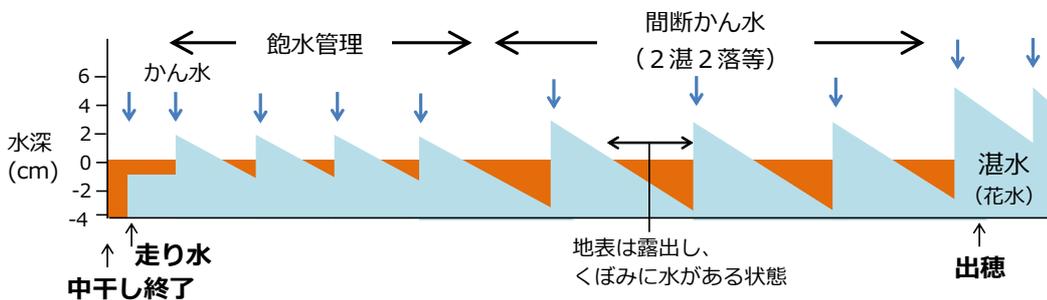
生育過剰の場合は減肥、生育不足の場合は時期を早めて対応を行います。

※その他の品種に関する穂肥診断の基準は別途お問い合わせください

## ◎中干し～出穂期までの水管理

中干し期間終了後は飽水管理（足跡に水が残る程度）とし、徐々に間断かん水に移行します。

7月は高温となる予報のため、水をためっぱなしにすると、根の活力が低下し、登熟に悪影響を及ぼす恐れがあります。間断かん水で土壌を酸化的にし、根の活力を維持しましょう。 出穂開花期は最も水を必要とするため、水深2~5cmの湛水管理を行います。



根の活力維持のため、「水のためっぱなし」はしない

## ◎斑点米カメムシ類は「多い」！草刈りの徹底を！

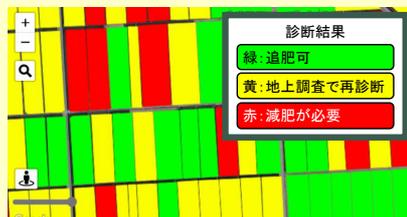
斑点米カメムシ類が急増しています。発生密度を減らすため、次の対応を行いましょう。

- ① 畦畔・農道の草刈りを徹底する。
- ② 水田内の除草対策（特にノビエ、イヌホタルイ等）を徹底する。
- ③ 休耕田などで雑草が繁茂しているところは、耕起する。

ただし、7月20日以降の草刈りは、カメムシ類の水田侵入を助長するため、原則行わないようにします。また、地域一斉に穂揃期の薬剤防除できるよう計画を立てましょう。

スマートつや姫『穂肥診断マップ』を使ってみよう！

圃場ごとに  
診断結果が  
3段階の色で  
表示されます



専用 HP にアクセス



詳細は農業技術普及課へ（ログインにIDとパスワードが必要です）